

東京工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	Grammar&WritingI	
科目基礎情報						
科目番号	0033		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気工学科		対象学年	1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons / ジーニアス総合英語 English Grammar in 27 Lessons Workbook / ジーニアス総合英語					
担当教員	向山 大地					
到達目標						
中学校で学んだ基本的な文法事項に加えて、高専入学後に学習する文法事項や構文などを理解し、活用・運用することができる。また、身近なことについて簡単な英語で書くことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	要改善レベルの目安 (C評価)	未到達レベルの目安 (D評価)		
評価項目1	中学校で学習した文法項目などを理解し、活用・運用できる。	中学校で学習した文法項目などをおおむね理解し、活用・運用できる。	中学校で学習した文法項目などを理解できる。	中学校で学習した文法項目などを理解できていない。		
評価項目2	文型・品詞が理解でき、活用・運用ができる。	文型・品詞がおおむね理解でき、活用・運用ができる。	文型・品詞の意味が理解できる。	文型・品詞の意味が理解できていない。		
評価項目3	動詞の働きが理解でき、運用・活用ができる。	動詞の働きがおおむね理解でき、運用・活用ができる。	動詞の働きが理解できる。	動詞の働きが理解できていない。		
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 B3						
教育方法等						
概要	1. 中学校で既習の文法事項や構文を理解できる。 2. 高校1年生レベルの文法事項や構文を理解できる。					
授業の進め方・方法	教科書を中心に基本的な文法事項について学習し、教科書や参考書の実践問題に取り組むことで学習内容の定着をはかる。各自が到達目標を達成できるよう、事前学習および復習を自発的に行うことを期待する。					
注意点	授業中に配布された資料などはファイルにとじて保管すること。指示された課題、提出物の期日は厳守すること。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 品詞について、Lesson1 文の種類	授業の進め方や受講に関する注意事項を確認する。品詞の判別ができるようになる。		
		2週	課題テスト Lesson 2 動詞と文型 (1)	課題テストをやることで復習しなければならない項目などを認識する。文型の考え方が理解でき、第1～3文型までを見分けることができる。		
		3週	Lesson 3 動詞と文型 (2)	文型の考え方を理解し、見分けることができる。		
		4週	文型復習 Plus 1 注意すべき動詞	文の種類、品詞、動詞、文型の働きについて理解し、練習問題が解ける。		
		5週	Lesson 4 時制 (1)	現在形、過去形、進行形の考え方が理解でき、適切に使うことができる。		
		6週	Lesson 5 時制 (2)	未来を表す各種の表現の違いを理解でき、適切に使うことができる。		
		7週	時制復習	さまざまな時制について理解でき、状況に応じて使えるようになる。練習問題が解ける。		
		8週	前期中間試験	前期中間試験		
	2ndQ	9週	Lesson 6 完了形 (1)	完了形の概念を理解でき、現在完了形を使うことができる。		
		10週	Lesson 7 完了形 (2)	過去完了形、未来完了形について理解し、運用することができる。		
		11週	Lesson 8 助動詞 (1)	法助動詞、迂言法助動詞について理解し、適切に使い分けられることができる。		
		12週	Lesson 9 助動詞 (2)	法助動詞、迂言法助動詞について理解し、適切に使い分けられることができる。		
		13週	Lesson 10 助動詞 (3) Plus 2 助動詞を使った表現	その他の助動詞表現、慣用表現を覚え、使うことができる。		
		14週	Lesson 11 受動態 (1)	基本的な受動態の文を組み立てることができる。		
		15週	Lesson 12 受動態 (2)	句動詞、by以外の前置詞を伴う受動態の文を覚え、書くことができる。		
		16週	前期末試験	前期末試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	

			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0